



http://www.kameyama-mie.jp/kblog/kawasaki/

コミュニティ・スクール基本理念 一地域の中で、みんなで生き生きと学ぶ川崎っ子の育成

川崎小学校 めざす学校像 ふれあいを通して人と人がつながり、学びにあふれる学校

《9月児童会目標
気持ちの良いあいさつをしよう》

川崎小の子どもたちの 学力は・・・パート②



No.12 令和4年9月30日
校長 西口 昌毅



～4・5年生の「みえスタディ・チェック」の結果から～

本年度も、4・5年生対象に三重県が実施する「みえスタディ・チェック」を4月19日・20日に行いました。その結果の集計・分析についてお知らせします。

みえスタディ・チェックとは・・・

これまでに行われてきた「全国学力・学習状況調査」等の解答状況を分析して三重県教育委員会が作成した問題で、県下の小学校4・5年生が取り組んでいます。算数、国語、理科の3教科で前学年までに学習した内容が出題され、前の学年に学習したことの定着度を測るものです。

4年生は算数と国語の2教科で、それぞれ20分で取り組みました。5年生は、算数、国語、理科の3教科で、各40分で取り組みました。



みえスタディ・チェックの結果 【平均正答率(%)】

4年生

5年生

4年生		R4年度	R3年度
国語	川崎小	68.6%	68.7%
	三重県	59.3%	56.8%

5年生		R4年度	R3年度
国語	川崎小	55.1%	75.1%
	三重県	52.3%	60.8%

4年生		R4年度	R3年度
算数	川崎小	53.3%	68.1%
	三重県	53.3%	59.0%

5年生		R4年度	R3年度
算数	川崎小	50.6%	61.1%
	三重県	55.8%	57.0%



% 三重県の平均正答率を上回ったもの

% 三重県の平均正答率を下回ったもの

5年生		R4年度	R3年度
理科	川崎小	42.3%	47.3%
	三重県	54.1%	50.9%

R3～4年度の2年間の結果を表にしました。

三重県の結果と比べてみると、R4年度は、5年生の算数と理科が県平均を下回り、国語は4・5年生ともに県平均を上回っています。(特に5年理科は11.8ポイント下回っています。)

年度によって、問題や受験者が異なるために一概には比較できませんが、川崎小学校の児童にとって、特に理科の学習の定着に課題が見られることがわかります。

～川崎小学校の子どもたちに見られる傾向～

【4年生国語】

- ・県の平均正答率を大きく上回る問題が多く、基礎的な知識や技能は比較的定着している。
- ・文中にある指示語が何を指しているのか読み取る問題に課題がある。

【4年生算数】

- ・県の平均正答率と同じである。ただし、正答率が80%を超える問題はなく、基礎的な知識や技能の定着に課題がある。
- ・昨年度の課題であった分数の問題については正答率が上がっている。

【5年生国語】

- ・県の平均正答率を若干上回っているが、平均正答率自体が低めである。
- ・漢字の書き取りは、問題によって正答率の差がある。

【5年生算数】

- ・県の正答率を若干下回っている。
- ・全問題の半分の正答率(50.6%)なので、基本的な知識・技能の定着が今後も必要。

【5年生理科】

- ・県の平均正答率を大きく下回っている。以前からの傾向が続いている。
- ・問題別に見たとき、県の正答率より20ポイントほど低い問題もあり、基本的な知識・技能の定着に課題がある。



～児童が苦手としている問題から～

【4年国語】

小4国語6二の正答率	
川崎小	11.1
三重県	18.3

【正答例】
 外国の人といっしょに折ることや、折ったものを記念にのこすこともでき、色やもようがきれいだ (44字)



【5年国語】

小5国語4一の正答率	
川崎小	22.2
三重県	33.1

【正答】
 イ



【話し合いの一部】※前ページと同じものです。

中野 今から、外国の人に、日本のことについて何をしようか話すかを話し合います。何をしようか話すかについて、意見のある人はいますか。

西田 わたしは、ゆかたをしようかいいのが良いと思います。理由は、ゆかたは日本の服で、ほかの国では見られないものだからです。

川口 わたしも、ゆかたは日本をしようかいいもの一つだと思っています。外国の人が、ゆかたを写真にとっているのを見たことがあるので、ゆかたは、外国の人にも人気があると思います。

北村 わたしは、和食をしようかいいのが良いと思います。和食はとてもおいしいし、健康に良いと聞いたことがあるからです。

小島 たしかに、和食は日本をしようかいいもの一つだと思っています。食べ物食べてどんな味なのかを知ってもらうのが大切ですよ。しかし、しようかいいする時に和食を食べてもらうのはむずかしいと思います。

中野 ほかに意見のある人はいますか。

高橋 わたしは、折り紙をしようかいいのが良いと思います。折り紙は、外国の人といっしょに折ることができ、折ったものを記念にのこすこともできるからです。

小島 折り紙は、色やもようがきれいなのも良いところだと思っています。(話し合いが続く)

二 中野さんのグループでは、話し合せて出した意見を次のようにまとめることにしました。

ア に当てはまる内よきを、あとのへじょうけん に合わせて書きましよう。

【話し合せて出した意見のまとめ】

○ 外国の人に日本のことについて、何をしようかいいするか。
 ゆかたは日本の服で、ほかの国では見られず、外国の人にも人気があると思うから。

和食は、とてもおいしいし、健康に良いと聞いたことがあるから。

折り紙は、色やもようがきれいなのも良いところだと思いいから。

へじょうけん

○ 【話し合せて】から、折り紙のいいところを全取り上げること。

○ ア に当てはまるように、三十字以上、五十字以内で書くこと。

※答えは、かい答用紙に書きましよう。

4

【4年国語】

次の一と二の間に答えましよう。

一次の文の——部の主語に当たるものを——部アからエまでの中から一つ選びましよう。

ウ 校内放送で、今日は 発明の日だと しようかいいされたので わたしは エジソンの 本が 読みたくなつた。

ア

イ

ウ

エ

2 次の文章中のくく部は何を指していますか、ふさわしいものを、次のアからエまでの中から一つ選びましよう。

暗い暗い夜が、ふさしきのようななげを広げて、野原や森をつつみにやってきましたが、雪はあまりに白いので、つつんでもつつんでも白くうかびあがつていました。

親子の銀きつねは、ほらあなから出ました。子どものほうはお母さんのおなかの下へ入りこんで、そこから丸な目をばちばちさせながら、あつちやこつちを見ながら歩いていきました。

(新美南吉「手ぶくろを買ひに」による)

小4国語2の正答率	
川崎小	47.9
三重県	64.6

【正答】
 ウ

4年生国語6二の問題は、話し合いの内容を正確にとらえてまとめることができるかが出題の趣旨です。「条件に合わせて書く」と「字数制限内で書く」ことが必要です。条件は、「全て取り上げること」となっているので、①「外国の人といっしょに折ることができる」②「折ったものを記念に残すことができる」③「色やもようがきれい」の3つを落とさずに書く必要があります。また、「～から」という理由を述べる言い方に合うように答えます。話の内容を理解するのはもちろんのこと、問題文を読んで求められることをつかみ、解答文を作る必要があります。4年生国語2では、「そこ」という指示語はどの場所を指しているかを問う問題です。5年生国語4一は、主語と述語の関係がとらえられるかという問題です。

【5年算数】

小5算数11(1) の正答率	
川崎小	19.8
三重県	37.1

5年生算数11(1)は、長方形を組み合わせた図形の面積の求め方を説明できるかという問題です。長方形を切り取って上の方にくっつけたときにできた1つの長方形の縦の長さを式で表すものです。昨年度も同様の問題でつまづく子どもが多かったです。問題を読んで、その状況を式で表すことや、なぜその式になるかなど、考えの過程を明らかにしながら立式していく学習に力を入れる必要があります。引き続き、授業の中で、自分の考えを図や式で表すことや友だちが考えた式の意味を説明する活動などを大切にしていきます。

11 けいたさんたちは、図1の形の面積を求めようとしています。方眼紙は1めもり1cmです。

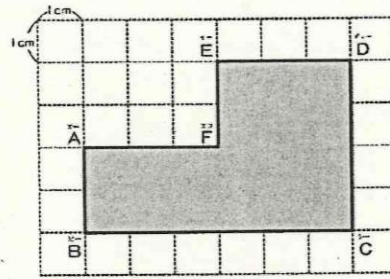
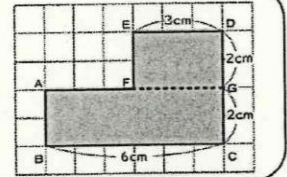


図1

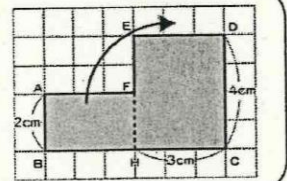
(1) けいたさんとゆうたさんは、図1の形の面積が何cm²になるかを考えています。



長方形EFGDと長方形ABCGの2つの長方形に分けて考えたよ。
 $2 \times 3 + 2 \times 6 = 18$
 答え 18cm²



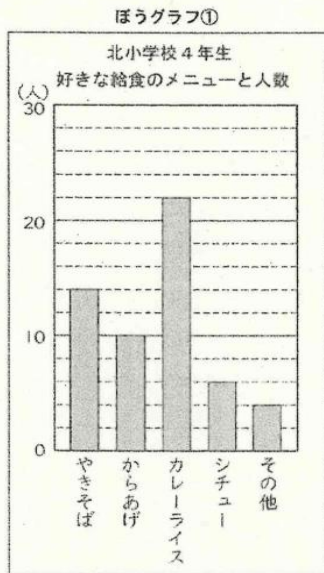
長方形ABHFを長方形EHCDの上で動かして、1つの長方形AHCFIにして考えたよ。
 $(\quad) \times 3 = 18$
 答え 18cm²



ゆうたさんの考えの にあてはまる式を答えましょう。

【4年算数】

7 まことさんたちは、北小学校の4年生全員の好きな給食のメニューを調べ、下のよう**に**ぼうグラフ①に表しました。

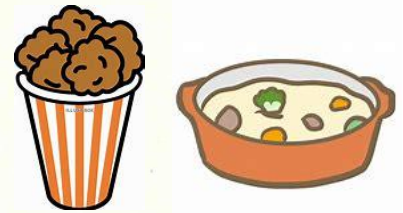


(1) 小学校4年生で、からあげが好きな人とシチューが好きな人とは、どちらのほうが何人多いですか。下の に入る言葉と、 に入る数を書きましょう。

が好きな人のほうが 人多いです。

※かい答は、かい答用紙に書きましょう。

小4算数7(1)の 正答率	
川崎小	39.7
三重県	55.8



【正答】
からあげが好きな人のほうが4人多いです。

4年生算数7(1)の問題は、棒グラフの目盛りに着目して、必要な数値や差をよみとる問題です。棒グラフの1目盛りが、2人分を表していることに気づかないと、「2人多いです」と答えてしまいそうです。グラフをよみとる時は、まずは、何を表しているのか、単位は何で、1目盛りはどれだけなのかを見極めることが不可欠であることを確認していく必要があります。

【5年理科】

小5理科 3 (1) の正答率	
川崎小	24.7
三重県	50.9

【正答】
ア

5年生理科3(1)の問題は、星の位置や並び方を観察する際の注意事項を理解し、正しい観察方法を身に付けているかどうかを問う問題です。星の位置や並び方が時間によって変化するかどうかを調べるという目的であるのに、みさきさんの調べ方は、位置がどこかわからない、やすひろさんの調べ方は、1つの星座の動きを調べていない、りえさんは、時間ごとに方角をかえてしまっているといった点がよくないことに気づかなければなりません。理科では、目的に合わせて、変えてはいけない条件と変えるべき条件を設定し、比較することで結果が見つかるという手法を学ぶことが大切です。また、実際に体験する・やってみることが重要です。

3 やすひろさんたちは8月11日に、それぞれの家で夜空に見える星を観察しました。

(1) やすひろさんたちは、星を観察したときのようすを話しました。



わたしは、午後7時と午後8時に家のげん関の前で南の空を観察しました。記録カードには、そのとき見えたさそりざだけでなく、まわりの家の屋根や電信柱もかきました。



わたしは、午後7時と午後8時に家のまどから南の空のようすを観察しました。記録カードには、さそりざの形だけをカードいっぱい大きくかきました。



わたしは、午後7時と午後8時に2階のまどから南の空を観察しました。記録カードには、まわりの家の屋根の形をかいて、午後7時はくちょうざの形と午後8時のさそりざの形をかきました。



わたしは、午後7時に東の空、午後8時に南の空、午後9時に西の空を観察しました。記録カードには、観察したとき、特に明るく見えた星をかきました。

星の位置や並び方が、時間によって変化するかどうかを調べる観察としてふさわしいのは、4人の中でだれの観察のしかたですか。下のアからエまでの中から1つ選びましょう。

- ア ふみやさん
- イ みさきさん
- ウ やすひろさん
- エ りえさん



【5年理科】

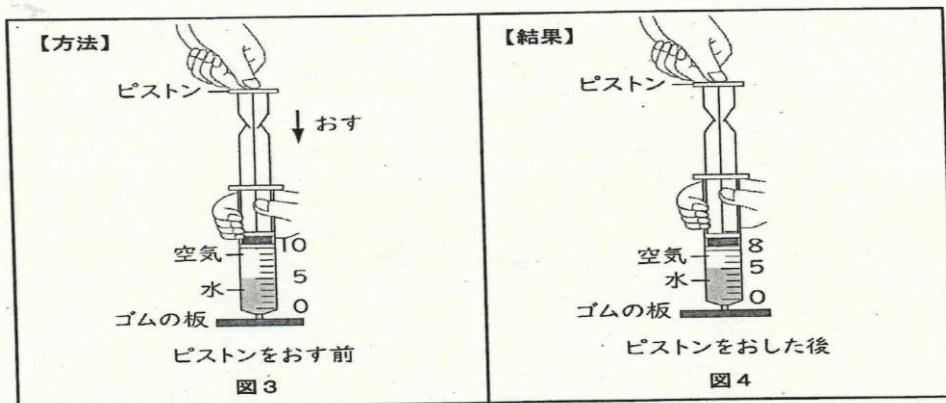
5 やすひろさんは、とじこめた空気や水のせいしつを調べていたとき、新たなぎ間をもちました。



空気と水を注しゃ器にとじこめてピストンをおすと、どうなるのかな。

そこで、やすひろさんは、図3のように、注しゃ器に空気と水をとじこめてピストンをおし、空気と水の体積について調べました。

実験した結果は、図4のようになりました。



(5) 上のような【結果】になったわけを、とじこめた空気と水のせいしつをもとにして書きましょう。

5年生理科5(5)の問題は、閉じ込められた空気と水の性質を、空気と水を注射器に入れておし縮めたときの体積変化に適用し、その理由を説明する問題です。注射器の目盛りから、ピストンを押し縮んでいるのは空気の部分だけということを見つけるとともに、空気と水の両方の性質に触れてわけを書くところに難しさがあります。



小5理科 5 (5) の正答率	
川崎小	16.0
三重県	43.5

【正答例】
 空気の体積は小さくなるが、水の体積は変わらないから。
 空気はおしちぢめることができるが、水はおしちぢめることができないから

4・5年生「生活のアンケート」から…

R4年度のみえスタディ・チェックでは、生活習慣や学習環境等に関する「生活のアンケート」の調査が初めてありました。内容は、6年生の全国学力・学習状況調査の児童質問紙に準じたものとなっています。特に顕著な傾向があるものを表にしました。数値は、「当てはまる」または「どちらかと言えば当てはまる」を選んだ子どもたちの割合です。（表の一の部分はデータがないもの）

% 県平均を上回ったもの

% 県平均を下回ったもの

【生活習慣・学習習慣に関すること】



毎日同じくらいの時刻に起きる。	R4年度 4年生	R4年度 5年生
川崎小	75.7%	96.5%
三重県	86.4%	89.5%

毎日同じくらいの時刻に寝る。	R4年度 4年生	R4年度 5年生
川崎小	63.5%	83.6%
三重県	76.5%	79.5%

早寝早起きに関しては、県と比べても、4年生に不規則な傾向が目立ちます。

普段（月曜日～金曜日）に1日当たりのゲームの時間が2時間以上。	R4年度 4年生	R4年度 5年生
川崎小	64.9%	62.3%
三重県	45.7%	51.3%

ゲームの時間は、4年生、5年生ともに県と比べても、明らかに長いことがわかります。

反対に、家庭学習の時間は少なめです。せめて、ゲームと勉強の時間が逆転したら…と思うのですが…。

普段（月曜日～金曜日）に1日当たり1時間以上、勉強をする。（塾や家庭教師も含む）	R4年度 4年生	R4年度 5年生
川崎小	37.9%	42.3%
三重県	46.8%	50.3%

家で自分で計画を立てて勉強をしている。	R4年度 4年生	R4年度 5年生
川崎小	66.2%	69.4%
三重県	73.7%	71.4%

普段（月曜日～金曜日）1日あたり30分以上、読書をする。	R4年度 4年生	R4年度 5年生
川崎小	35.2%	36.4%
三重県	42.9%	40.2%

今後も自主学習の奨励を続けます。「家庭学習の手引き」にありますように、宿題30分+自主学習（学年×10分）を目安に、家庭での声かけをお願いします。

【学校生活、授業等の教育活動に関すること】

学校へ行くのは楽しい。	R4年度 4年生	R4年度 5年生
川崎小	78.3%	90.6%
三重県	85.7%	84.4%

学校が楽しいのが何よりです。5年生は、結構高い数値が出ています。どの学年、学級も、みんなで「居心地の良い学年・学級づくり」を目指します。

算数の勉強は好き。	R4年度 4年生	R4年度 5年生
川崎小	63.5%	71.8%
三重県	87.0%	86.7%

算数の授業内容はよくわかる。	R4年度 4年生	R4年度 5年生
川崎小	90.5%	83.6%
三重県	73.9%	67.8%

算数が好きな子がかなり少ない傾向にあります。授業内容はよくわかると答える子が多いのになぜなのかな。わかりやすい授業に加え、算数の面白さや不思議さに注目して授業づくりを考える必要があります。

【豊かな人間性（自己有用感 地域への関心等）に関すること】

将来の夢や目標をもっている。	R4年度 4年生	R4年度 5年生
川崎小	74.3%	88.2%
三重県	87.7%	86.3%

自分には、よいところがあると思う。	R4年度 4年生	R4年度 5年生
川崎小	67.6%	84.7%
三重県	81.8%	78.2%

難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している。	R4年度 4年生	R4年度 5年生
川崎小	87.8%	91.7%
三重県	83.2%	79.1%

今住んでいる地域の行事に参加している。	R4年度 4年生	R4年度 5年生
川崎小	47.3%	62.3%
三重県	64.5%	63.6%

地域や社会をよくするために何をすべきか考える。	R4年度 4年生	R4年度 5年生
川崎小	62.1%	62.3%
三重県	67.3%	66.1%

課題を見つけ、それを解決するという学習活動を大切に授業づくりを今後も継続していきます。そのためには、話し合いの場で、互いの意見を出し合い、練り上げる場面を意図的に設定する必要があります。

前の学年までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた。	R4年度 4年生	R4年度 5年生
川崎小	73.0%	82.3%
三重県	82.3%	79.6%

国語の勉強は好き。	R4年度 4年生	R4年度 5年生
川崎小	56.7%	70.6%
三重県	67.5%	61.9%

国語の授業内容はよくわかる。	R4年度 4年生	R4年度 5年生
川崎小	78.4%	85.8%
三重県	87.7%	88.1%

将来の夢と目標をもつことについては、5年生は9割近いのですが、4年生は7割台。また、自己肯定感に関する項目も、5年生は8割台ですが、4年生は低め。自己肯定感是最も大切な気持ちと考えます。個々の子どもを認める場づくりが必要です。

「挑戦する心」は、4・5年生ともに県平均を上回りました。

地域行事への参加や、地域について考えることについては、県と比べて低めです。地域や社会に目を向けて学習する機会を大切にしていきたいと思います。



4年生は、国語が好きではない子が多いようです。逆に5年生は県に比べて国語が好きなお子が多いようです。また算数と比べて、4年生は国語の授業が分かっていくと感じている子が多いようです。わかりやすさを意識した授業づくりを研究していく必要があります。



6年生「全国学力・学習状況調査」と、 4・5年生「みえスタディ・チェック」の結果を受けて

今回の学力に関するデータは、その学年だけに限らず全ての学年における指導の在り方に結びつくものです。したがって、結果の分析をもとに、川崎小学校における課題と、その克服に向けてこれからの指導で特に取り組んでいくことを全ての教員間で共有し、1～6年生の日々の授業等において意識的に実践を進めてまいります。

これからの指導で特に取り組んでいくこと

国語

1. 主語と述語の関係を読み取る力を身に付けさせる。
(主語と述語は2年生から指導)
2. 指示語が何を表しているのか読み取る力を身に付けさせる。
3. 長文を読むことに慣れさせる。(学年に応じた読み物を読む。本の紹介)
4. 話し合い活動を充実させる。



算数

1. 低学年のうちから、正しく計算する力を身に付けさせる。
(家庭学習、授業はじめの5分や、ぐんぐんタイムの活用)
2. 立式の際に、なぜその式になったのか説明する力を身に付けさせる。
(ロイロノートで考えを子ども同士で伝える。)
3. 棒グラフや表から、求められているものを正確に読み取る力を身に付けさせる。
(グラフや表からわかることを文でまとめる。説明する。)
4. 学習内容と生活体験が結びつくような課題や問題を提示していく。
5. 問題を見て、想像したり、見当をつけたりする場面をつくる。



理科

1. 問題を解く機会が、算数や国語に比べて格段に少ないので、eライブラリーやプリント等での復習の機会を増やす。
2. 問題文・絵・グラフなどから実験の条件を考えたり、結果から分析したりする機会を充実させる。



【ご家庭で】

学びの土台作りのために、基本的な生活習慣や学習習慣の定着に向け、以下の取組をお願いします。

～かめやまお茶の間10選(実践)から～

1. 家族でつくろうハッピーリズム・しっかり食べてつくろうカラダ
引き続き、「早寝、早起き、朝ごはん」で規則正しい生活リズムを身に付けさせましょう。
2. つくって守ろう家族のきまり
自分で計画を立てて家庭学習(宿題、自主学習、予習、復習)をしましょう。テレビ、DVDの視聴時間や携帯電話、スマホ、パソコン等の使い方について、家庭で約束を決めて守りましょう。特に、ゲームの時間に要注意!
3. 夢への一歩 家族の力
子どもは話しがかり屋です。お子さんの気持ちや考えをありのまま受け入れ、共感して聞いてあげてください。子どもの自己肯定感を育み、自信や意欲につながります。

